中央区自治協議会の活動内容を「自治協議会だよ り」で年3回お知らせします。

区民の皆さんと行政との「協働の要」である区自治 協議会では、地域の特色あるまちづくりを進めるため、 38人の委員が区役所と連携しながら活動しています。

自治協議会の議事の内容はホームページ(http:// ■\* www.city.niigata.lg.jp/chuo/torikumi/jichikyo/ kaigi\_kaisai) = QR コード=で公開しています。



発行: 新潟市中央区 自治協議会だより編集部会 電話:223-7023(地域課内)

## 平成 28 年 10 月 ~29年1月

# 区自治協議会の主な議事

平成28年10月から29年1月までに毎月開催し た中央区自治協議会全体会での議事や報告事項 の中で、委員が質問・意見・提案を述べたもの を抜粋し紹介します。

## ▶区自治協議会の見直しについて(10月)

事務局 区自治協議会運営指針の改正について 説明

**委員** 『協働』や自治協が担う役割の定義の 明確化、幅広い年齢層が自治協に参加できるよ うな環境づくりの検討を要望。

## ▶中央区社会福祉協議会が作成した「ゴミ屋敷 支援ガイドライン」について(11月)

### 委員

中央区社会福祉協議会から選出された委員 および同協議会職員が、同協議会が平成23年 度から取り組んでいる「ゴミ屋敷」への支援を

委員全員で同協議会との具体的な連携の可 能性を模索し、学生による片付け支援ボランテ ィアなどの情報を共有した。

## ▶中央区役所の移転について(12月)

事務局 2階から5階までのフロア構成案を説明 し、オープンの予定時期を平成29年夏ごろと公表。

- 1.取得費の妥当性および改装費について意見交換
- 2. 東区社会福祉協議会が東区役所内に入居し円 滑に連携が取れていることから、中央区でも同 様の手法がとれないか意見交換
- 3.「質の高い行政サービス」「まちなかの賑わい を創出」「利用しやすい区役所」「人にやさし い区役所」「親しまれる区役所」の具体例につ いて意見交換。役所が休みの土日および祝休 日も賑わいが生まれる工夫を要望。

### ▶区自治協議会の部会の編成について(1月)

**議長** これまで以上にさまざまな地域課題にき め細かく対応できるよう、現在の3部会体制から 「地域活性化部会」「暮らし部会」「教育部会」「水 辺とみなと部会」の4部会体制にする案を説明。 委員に意見を募集し、総務運営会議で最終案を とりまとめ、第 11 回自治協議会に諮ることとした。

## 第5期中央区自治協議会を 振り返って

会長職を2年全うすることができましたが、 就任当初から「区自治協議会はまだまだ区民の 関心が低い。どのようにすれば関心を持っても らえるか」と考えさせられる2年間でした。

そこで、第5期中央区自治協議会では、まず は委員を選出している地域コミュニティ協議 会や各種団体に自治協議会の会議内容を理解 してもらおうと、会議概要などできるだけ早く 委員に送付し、委員が所属する団体の皆さんに 会議の内容をお伝えするよう、協力をお願いし ました。

この取り組みは他区の自治協議会でも共有

され、自治協議会の認知度向上 への一助になったのではと思い ます。

第6期自治協議会でも、自治 協議会の認知度がさらに高まる ことを願っています。



会長 豊嶋直美

第5期 (平成 27・28 年度)

# 各部会の活動

第5期自治協議会の活動も残りわずか。この2年間の取り組みを各部会の座長が振り返ります。

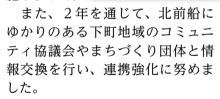
## 辺とみなとのまち部会

第4期(平成25・26年度)の 当部会が提言した「北前船時代の 新たな街並みづくり」を検証し、 みなとまち新潟の歴史や文化、未 来の新潟の新たなまちづくりに資 するよう、部会自らできることに取 り組んだ2年間でした。

27年度は、2019年の開港 150 周年を見据え、他の開港4都市お よび全国 34 都市の開港記念事業調 査を行い、各都市の取り組みをま とめました。

28 年度は、小学生の親子を対象 に、新潟の歴史、文化、地域をめ ぐるまち歩きでみなとまち新潟を

知ってもら う企画を実 施しました。



当部会での取り組みが、みなと まち新潟への想いとともに、今後 生かされていくことを願っていま す。ご協力いただいたすべての方 に感謝申し上げます。

座長 藤田孝一

## にやさしい暮らしのまち部会

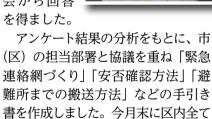
「地域コミュニティを活性化する 手段としての防災活動」をテーマと して2年間活動してきました。

27 年度は「自助」の観点から、「わ が家の備えのチェックシート」を作成 し、大地震への備えについて家族で 話し合うきっかけにしてもらいました。

500 を超える区内全ての自治・町 内会から協力いただき、シートを全 戸配布したほか、区内の小・中学校 にも持参しました。

28年度は「自助」から「共助」 へ結びつけるため、災害時要援護者 制度の周知状況などについて自治・ 町内会にアンケート調査を実施し、

370 以上の 自治・町内 会から回答 を得ました。



大規模災害が発生しないことを願 いつつ、災害に備える「心」の大切 さを区民みんなで共有したいと考え ています。

の自治・町内会へ配布する予定です。

座長 田村勝義



## 点と賑わいのまち部会

「未来に備えた地域の賑わい創出・ 活性化」をテーマに、27年度は部会 での事業案を 12 案に絞り、市民にグ ループインタビューを実施しました。

28年度はその結果をもとに、次 の5案にまとめました。

- ①「憩いのサードプレイス」やすら ぎ提のオープン化事業
- ②新潟丸ごと物産館・なつかしき未 来の街・お年寄りが集まる賑わいの 古町づくり
- ③鳥屋野潟南部の未来産業・湖畔 周辺の賑わい提案
- ④新潟時間の時報塔の鐘が鳴る萬 代橋を作ろう
- ⑤空き家・空き地を使ったシェアハ



これら5案について、各商店街な どの関係者に再度調査・検討を実施 し、昨年11月にはクロスパルにいが たで市民公開フォーラムを開催。パ ネル討論などを行いました。参加者 からのアンケートには「いろいろな 視点からまちづくりを考え提案した ことに感銘を受けた など好意的な 感想が多く寄せられました。

当部会が調査・検討したこの5案 が、超高齢社会、人口減少社会に役 立てられることを願っています。

座長 淺野昌禧

## 自治協だより編集部会 ■初の特別号発行と自治協の見 える化

編集部会では、こ れまで中央区だより および市報にいがた と一体的に発行して いた自治協だよりに



の試みとして特別号を7月に単独 で発行しました**=写真=**。

表紙は自治協委員の所属や地 域が一目でわかるようなレイアウ トとし、「中央区自治協女子会」 を企画して委員の率直な意見を お届けしました。また、特別号以 外の号でも委員の写真を掲載す るなど、自治協をより身近に感じ

ていただけるよう委員一同で工夫 しながら「自治協の見える化」に 取り組んでまいりました。

自治協の「自治」は、読んで字 のごとく「自ら治めること」です。 委員だけではなく区民の皆様から 自治会や町内会、コミ協、区役所 それぞれの役割をご理解いただ き、主体的に自治に関わっていた だくことで、自治協は協働の要と しての機能を十分に発揮できます。

自治協だより編集部会は、今後 も自治協の活動をわかりやすくお 伝えするよう努めてまい りますので、区民の皆さ まのご協力をよろしくお 願い申し上げます。



座長 井上基之